



(漫画：圓山道子さん)

ハンセン病研修



ハンセン病に対する偏見や差別は、現在もなお続いています。熊本市人権啓発市民協議会ではハンセン病についての正しい理解と歴史的事実を学ぶため、令和5年11月9日(木)、研修会を実施し、小野友道先生(熊本県ハンセン病問題啓発推進委員会副委員長)の案内により「リデル、ライト両女史記念館」[本妙寺]



「菊池恵楓園歴史資料館」を訪問しました。参加者からは、「ハンセン病について、知らないことも多く、とても勉強になった」「これをきっかけとして、さらに学んでいきたい」などの感想が寄せられました。



人権擁護委員(熊本市定員41名)は、法務大臣から委嘱され、地域のみなさまからの人権相談の対応や人権についての啓発活動を行います。10月1日付で新たに下記の方々に委嘱されました。

(敬称略)

- 勝本 映美、中山 幸美、村山 雅則、
- 山田 美保、中村 和徳、紫藤 千子、
- 横山 千佳子

Voice



NHK熊本放送局
太田 真嗣 局長
(令和5年度(2023年度)副会長・理事)

NHKは、『放送ガイドライン』で、「人権を尊重し、不当に名誉を傷つけたり、プライバシーを侵害したりしないように、取材や制作のあらゆる過程で細心の注意を払う」と定めています。公共放送として最も大事にしているものですが、それを正しく実践するのは容易ではありません。

例えば、事件・事故を扱う番組などでは、▽報道される側のプライバシー保護 ▽報じることの公共性 ▽国民の『知る権利』のバランスが常に問われます。それだけに作る側としても細心の注意を払って制作に臨んでいます。

一方、意外に思われるかもしれませんが、怖いのは、私たちが、『何気なく使っている』言葉です。日常使う言葉にも放送には適さないものがありますし、「家族」という言葉ひとつとっても、価値観が多様化するなか、特定のイメージをあてはめて使うのは適切ではありません。

そうした“落とし穴”をどう回避するか。NHKでは、センシティブな問題を扱う番組などでは、放送前に多くの職員が一緒に見てチェックする『複眼試写』を行っています。個人の思い込みを排除し、さまざまな観点から意見を出し合ってリスクを回避する取り組みです。

人権を守っていくために大事なことは、まず『問題を知る』、そして、『皆で議論し、理解を深めていく』こと。NHKは、これからも人権をめぐる様々な課題を提起していきます。

そして、共に議論することで、みんなが安心して住める社会の実現に貢献したいと考えています。



株式会社熊本リビング新聞社
斉藤 公俊 代表取締役社長
(令和5年度(2023年度)理事)

熊本リビング新聞社は、サンケイリビング新聞社のネットワークの一つとして、1987年(昭和62年)に誕生しました。宮城から沖縄まで、全国で48エリア・約652万部を発行するフリーペーパー・リビングネットワークの一端を担い、熊本市を中心に「リビング熊本」を週1回27万部(2023年11月現在)発行しております。

世代性別を問わず地域のみなさまの日常に潤いをご提供する生活情報紙として親しまれ、おかげさまで今年38年目を迎えます。

2020年12月にスタートしたウェブサイト「リビングくまもとWeb」ではおでかけ・グルメなどの地元に着したローカル情報を配信し、毎月およそ12万人の方にご覧いただいております。

弊社では“ファンづくり”を合言葉にしております。編集、営業、事業、総務、各部門において、それぞれに向き合わせていただくお相手の方々、企業様、読者様がいらっしゃいます。その方々に弊社のファンになっていただくため、私たちはまずお相手の声に誠実に耳を傾けることから始めます。そして理解を深め、笑顔になっていただくために私どもができることを考えます。

これからも私たちは、地域のみなさまの輝く人生の1ページに寄り添えるメディアを目指してまいります。

ラブミンだよりについてご意見・ご感想等ございましたら、下記までご連絡ください。

〒860-8601
熊本市中央区手取本町1-1
熊本市人権啓発市民協議会事務局(熊本市役所人権政策課内)

〔電話番号〕096-328-2333
〔F A X〕096-324-2105
〔ホームページ〕https://lovemin.jp/



熊本市人権啓発キャラクター「ラブミン」



ラブミンだより



冬号

令和6年2024年



人権協ホームページ
https://lovemin.jp

犯罪被害者等の人権について ～犯罪被害に遭うということ



くまもと被害者支援センター
センター長

田上 美智子

プロフィール

熊本市役所に38年間勤務。退職後、平成31年4月から現職に就任。行政での経験を活かし、被害者支援に必要な行政機関との関係づくりに力を入れている。住んでいる地域のまちづくりボランティア活動にも参加している。

「自分が犯罪被害に遭う」。皆さんは想像したことはありますか？

私たちの身の回りでは、悲惨な事件や事故が毎日のように起きています。ある日、突然、何の落ち度もないのに、事件や事故に巻き込まれ、自分や大切な家族が傷つけられ、若しくは命を奪われる。

「行ってきます。」「行ってらっしゃい。」「ただいま。」「お帰りなさい。」がもう二度と聞けない。当たり前だった日常が日常でなくなる苦しみや悲しみ、加害者への怒り。そして、自責感情。「もしあの時自分がこうしていれば、ああしていれば、こんな被害には遭わなかったかもしれない」。しかも、それは一生続きます。「被害者遺族は遺族であることを辞められない」のです。

そのような犯罪被害者やご遺族に世間はどんな扱いをしているのでしょうか？

マスコミが大挙して押しかけ自宅に戻れない。勝手に写真を掲載され、プライバシーを暴かれる。SNSでの誹謗中傷もあります。ご近所でも好奇の目で見られ、買い物にも行けなくなります。「なぜ、こんな目に遭わなければならないの？やっぱ、私が悪かったの？」

思い出してください、7年前の熊本地震の時のことを。不安、恐怖、混乱の中で、私たちはたくさんの方々の温かいご支援をいただき、やがて落ち着き、生活を立て直し、少しずつ日常を取り戻すことができました。

犯罪被害は自然災害と違って、人為的に、加害者の故意または過失により引き起こされるものです。「人は人によって傷つけられるが、人は人によってしか癒されない。」のです。「そっとしておいてほしい。でも、忘れてほしくない」

このような犯罪被害者等のおかれた状況や心情等に思いを寄せ、たくさん長期にわたる支援が必要であることを理解し、行動していただきますようお願いいたします。

「もし、自分や大切な家族が犯罪被害に遭ったら…」ぜひ想像してみてください。

共に創る。共に生きる。

Daiva House. 大和/ウス工業株式会社 熊本支店
〒860-0012 熊本市東区東が丘15番24号

私たちはお客様の
想いと夢をデザインします…

熊本市コロニー協会(コロニー印刷)

〒860-0051 熊本市西区二本木3丁目12-37
TEL.096-353-1291 FAX.096-351-4303
Home page http://www.colony-kor.jp/ E-mail soumu@colony-k.or.jp

熊本市が作った
福利厚生制度 **ふれあう共済**

会費1人**350円/月**で従業員の皆様に充実した福利厚生サービスを提供します。人材確保、職員のワークライフバランスの取組みとしてお役立てください。

〒860-0051 熊本市中央区黒髪3-3-12 9/24/7熊本内
TEL: (096) 345-7311 https://fureau.net